

提 案 概 要

(北九州市立ふれあいむら社ノ木デイサービスセンター指定管理者)

団体名： 社会福祉法人 春秋会

1 指定管理者としての適性について

(1) 施設の管理運営（指定管理業務）に対する理念、基本方針
社会福祉法人春秋会の経営理念である「私たちはお客様の人権と個性を尊重し、安心と喜びのある生活を支援します」を実現するために、「人権の尊重」「個性の尊重」「安心と喜びのある生活」ということを念頭において、管理運営に関する取り組みを進めていく。
(2) 安定的な人的基盤や財政基盤
風通しのよい職場風土になることで、離職率が低下し、職員がいきいきと働くことが可能となる。職員に対しては、専門知識や技術を高めるだけではなく、研修を通して、人間性も向上させていくことで、さらにより職場風土になるよう努める。このように人的基盤を安定させることにより、高品質なサービスを生み、ひいては財政基盤を安定させることを目指す。
(3) 実績や経験など
ふれあいむら社ノ木デイサービスセンターの過去の実績（平成26年度～30年度）に甘んじることなく、処遇困難な事例にも積極的に取り組みを進めていくことにより、事業所としてさらなる発展につながると信じて努力を重ねていく。

2 管理運営計画の適確性

【有効性】に関する取り組み
(1) 施設の設置目的の達成に向けた取り組み
経営理念に沿った行動ができるように、年度目標（平成30年度は「飛躍」）を適正に定めて、努力することが重要である。 重点目標を、①人材育成 ②設備投資（メンテナンス） ③安定経営（売上目標）を明確にすることで、目標を達成するためのプロセスを確認できるシステムを構築していく。 ※ 平成31年度以降の5年分の目標数値を記載。
(2) 利用者の満足度
個別ケアの実践（ケアプランの充実）と、PDCAサイクルを基本にした品質マネジメントシステムを実践することで、利用者の満足向上を図る。 苦情解決の仕組みを見える化することで、ご利用者ならびにご家族にも安心を与えていくため、ホームページ等を活用して、情報発信をしていきたい。

【効率性】に関する取組み
<p>(1) 指定管理業務に係る経費</p> <p>法人の中長期計画に沿った、事業規模の拡大を計画的に行い、スケールメリットをしっかりと打ち出していくことで、法人本部機能の強化と、管理業務に係る経費を捻出していきたい。</p> <p>門司エリアにおいて、3つの拠点（ケアハウス好日苑・好日苑大里の郷・ふれあいむら社ノ木デイサービスセンター）を一体的に運営することで管理業務のスリム化に努めたい。</p>
<p>(2) 経費の低減や収入の増加に向けた創意工夫</p> <p>経費については、門司エリアの3拠点による、共同仕入れ（同一備品・同一の食事メニュー）を行うことで、経費の低減を図りたい。</p> <p>収入については、現状のご利用者ならびにご家族、地域を大切にすることで、ロコミで増客を図りたい。</p>

【適正性】に関する取組み
<p>(1) 管理運営体制など</p> <p>職員の研修体制を整えることで、一人一人のスキルが向上し、管理体制を強化することができる。そのためは、専門技術だけではなく、人間性の向上を図りたい。</p> <p>地域の核となるべく、地域交流サロン「よっていきっちゃ」を活用し、地域住民の安心の拠り所となれるようにさらなる工夫をしていきたい。</p> <p>施設の開放や行事の合同開催などを通じて、敷居を低く気軽に立ち寄れる場所としたい。</p>
<p>(2) 平等利用、安全対策、危機管理体制など</p> <p>法人として虐待防止ならびに身体拘束廃止については、「虐待ゼロ」・「身体拘束ゼロ」をスローガンとして、職員研修をしっかりと行っていく。</p> <p>事故防止については、ご利用者の尊厳と自立支援に資するように、安全管理委員会を中心に組みを行っていく。</p> <p>介護事故が社会問題化していく中においても、複雑化していく問題から目を背けず、丁寧に真摯に対応していきたい。</p>

提案額（千円）

31年度	0円
32年度	0円
33年度	0円
34年度	0円
35年度	0円